

はじめに

この記録は、平成28年中に本県で発生した災害の被害状況及び気象状況等を収録したものです。

平成28年は、国内においては、4月に観測史上初めて最大震度7以上の地震が立て続けに発生した熊本地震が起これ、死者249名、負傷者2,790人、住家被害2,790棟（災害関連死含むH29.10時点）等、熊本県を中心に広域的な範囲で甚大な被害をもたらしました。これらの災害では、改めて「大規模災害時の行政機能確保」や「県外からの広域的な支援を円滑に受け入れるために必要となる体制づくり」などの課題が明らかになりました。また、「被災者の生活環境の改善」について再認識されました。

こうした中、平成28年中に本県で発生した災害による被害総額は、約137億円にのぼりました。幸いにも人的被害（死者・行方不明者）は発生しませんでした。4月の熊本地震では負傷者8名、住家被害41棟の被害が発生し、9月の台風第16号では1名の負傷者、820棟の住家被害が発生するなど、地震災害や風水害等の自然災害の影響を受けやすい地域であることに変わりはありません。

このような災害から県民の生命や財産を守るため、県では防災行政無線や全国瞬時警報システム（J-ALERT）の整備、携帯電話への防災・防犯情報メールサービスの提供などにより、災害時において、県民に迅速・的確に災害情報を提供できるよう防災体制の充実を図っております。

また、地域における自主防災活動のリーダーとなる防災士の養成や、県総合防災訓練をはじめ、県民一斉防災行動訓練（みやざきシェイクアウト）や防災啓発キャンペーンを実施するなど、自助・共助の取組推進による地域防災力の向上にも取り組んでおります。

これからも、県地域防災計画に基づき、県民及び各防災関係機関と一層連携しながら、安全で安心して暮らせる社会を目指してまいりたいと考えております。

関係機関等におかれましては、本記録を防災上の関係資料として御活用していただければ幸いです。

最後に、この記録の収録に当たり御協力をいただきました宮崎地方気象台をはじめ、関係機関の皆様に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

平成30年3月

宮崎県危機管理統括監

田中 保通